

米倉教公の週間為替市場見通し

11/7 日週号

ドル/円予想レンジ 100円割れ - 105.50円

『米大統領選・議会選の結果次第で大幅な変動も！』

■前週の市場動向：今週のドル/円は米大統領選懸念で軟調推移

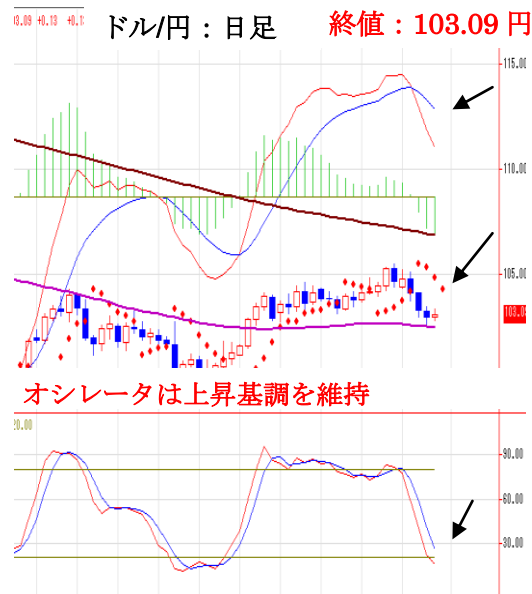
今週のドル/円の週足では、上下ヒゲの陰線引けとなった。週足ではダブルボトムネックラインとなる 104.32 円を一旦上抜けたものの、再び下抜けた。週開けは、全般にドル高が進んだものの、その後は月末ロンドンフィクシングに絡んだドル売りに伸び悩んだ。1日は、米大統領選を巡る不透明感から株安が進むなか、リスク回避の売りが先行した。2日は、株安を背景に売りの流れが続き、一時 102.99 円まで値を下げた。また、米 FOMC の声明文の内容は予想された範囲内だったが、次回会合での利上げについて言及がなかったとして 3 日には一時 102.53 円と 10 月 4 日以来の安値を更新した。ただ、欧州勢参入後は週明けから急ピッチで値を下げた反動が出た。また、再びクリントン候補がトランプ候補を支持率で上回ったとの報道もドルの買い戻しを誘った。4日は、注目されていた米雇用統計では非農業部門雇用者数が市場予想を下回ったものの、8月と9月分が上昇修正されたことから、方向感のない展開となった。

■今週の注目点：米大統領選結果次第で上下に波乱含み

今週の注目点では、何と言っても 8 日大統領選と議会選の結果となる。日本時間の 9 日朝 7 時から 9 時以降に出口調査の速報が想定される。速報が流れ始めると市場では集票状況に一喜一憂となる可能性が高い。初期反応とすれば、クリントン候補が優勢なら円安・ドル高・株高が想定される。一方、トランプ候補が優勢なら円高・ドル安・株安という展開が想定される。また、議会選で上下院ともに共和党が勝利したり、上院と下院で民主党と共和党が分かれる『ネジレ』となると、政策停滞の懸念が増大する。クリントン候補の勝利でも、私的メール問題やクリントン財団の不透明疑惑などで FBI から訴追される可能性を抱えたままの大統領誕生となる。さらに以前から健康問題も囁かれており、就任早々からレームダック化の懸念もある。そのため、議会選の結果次第では、クリントン大統領就任でもリスク回避の動きに繋がる可能性もあり、注意が必要となる。

■テクニカル的な見解：4週連続陽線引けとなるかが注目！

11月1日付のシカゴ IMM 投機筋の対米ドルの差し引き持ち高で、円は前週の+45,595 から+43,160 へと円の買い持ち高は前週から小幅縮小した。パラボリック（パラメータ：0.08、0.3）では、1日からの買転から売転に転換した。週明け 104.32 円まで上昇なら買転に。MACD（パラメータ：12、26、9）では、かい離を拡大してデット・クロスが継続。ストキャスティクス・スロー（パラメータ：14、3、3、20、80）では、%K：15.4、%D：26.13 かい離していることから下落圧力は残っている。今年に入ってから常に 75 日線が上値抵抗ラインとなっていた、一旦上抜けたことから 75 日線が下値支持ラインになるかが焦点だ。75 日線は 102.495 円に位置している。8日に米大統領選を控え、9日から東京時間から大きな変動となりやすいため、十分注意が必要だ。今週は 100 円割れから、105.50 円を想定する。



★今週の気になる出来事

米大統領選の話題の陰に隠れてしまったが、週末にサウジアラビア当局者は『サウジアラビアがイランに対して減産を受け入れなければ同国が大幅増産し、原油価格を押し下げると恫喝した』との観測が流れ、それを否定したとの報道があった。火のないところに煙は立たぬとの諺がある。言った言わないの低レベルこと、何で減産するのかという目的が頓挫してしまいそうな話題である。やはり NY 原油は 1 バレル=50 ドル近辺が上値目途となることが分かる出来事だ。それにしても、いつもまとまらない産油国達だ。

商号：株式会社フジトミ

金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第 1614 号

商品先物取引業者：農林水産省指令 22 総合第 1351 号,経済産業省平成 22・12・22 商第 6 号

加入協会：日本証券業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人金融先物取引業協会、

■くりっく 365 の売買手数料は 1 枚当たり最大でインターネットスタンダードコースが片道 0 円 (税込)、インターネットプレミアムコースが片道 648 円 (税込)、コンサルタント取引 (対面取引) コース及びコンサルタント取引 (対面取引) オンライン併用コースが片道 1,080 円 (税込) です。

■くりっく 365 における証拠金の額は、株式会社東京金融取引所が定める為替証拠金基準額で、原則週次で見直されます。その額は通貨ペアによって異なり、個人のお客様の場合最大で約 25 倍のお取引が可能です。

【くりっく 365－為替証拠金基準額の算出方法】

金融先物取引所が定める為替証拠金基準額は以下の計算式に基づき、算出致します。

計算式：為替証拠金基準額＝取引単位 (元本金額) ×4%× (5 取引日の為替清算価格平均値)

■「くりっく 365」には、以下のリスクがあります。

【価格変動リスク】

くりっく 365 は、取引する通貨の価格の変動に伴い差損が生じる場合があります、元本や収益が保証されるものではありません。建玉を維持するために追加で証拠金を差し入れる必要が生ずる場合があります。また、差入証拠金以上の損失が生ずる場合があります。

【レバレッジリスク】

くりっく 365 は、取引の額が預託された証拠金に比して大きくなるため、価格変動リスクその他のリスクがその比率に応じて増幅されます。レバレッジにより、その取引について必要となる証拠金の最大 25 倍までのお取引を行うことができます。

【信用リスク】

当社は、東京金融取引所を相手方とした「清算制度」に参加しており、お客様の証拠金は、全額取引所が区分管理しているため、原則として全て保全されています。しかし、当社の信用状況の変化等により支払いが滞ったり、破綻した場合には、返還手続きが完了するまでの間に時間がかかったり、その他不測の損失を被る可能性があります。

【システム障害リスク】

当社及び東京金融取引所のシステム、又はお客様、インターネット業者、東京金融取引所の間を結ぶ通信回線等に障害が発生した場合には、相場情報等の配信、発注・執行等が遅延したり、不可能になることがあり、その結果、不測の損失が発生する可能性があります。

【税制・法律等の変更リスク】

税制・法律又はその解釈等が将来変更され、実質的に不利益な影響を受ける可能性があります。

【金利変動リスク】

取引対象である通貨の金利が変動すること等により、保有するポジションのスワップポイントの受取額が減少、又は支払額が増加する可能性があります。ポジションを構成する2国間の金利水準が逆転した場合等には、それまでスワップポイントを受け取っていたポジションで支払いが発生する可能性もあります。また、一部の通貨においては、外国為替市場における当該通貨の需給関係等の影響を受けて、金利変動によらずにスワップポイントの増減や支払いの逆転が生じたり、場合によっては、金利の高い方の通貨の買いポジションでスワップポイントの支払いが生じる可能性があります。

【流動性リスク】

くりっく 365 で提示する為替レートには価格差（スプレッド）があります。くりっく 365 では、マーケットメイカーが買呼値及び売呼値を提示し、それに対してお客様が注文を発注して取引が成立する方式を取っています。状況（天変地異、戦争、政変あるいは為替相場の激変等）によって、マーケットメイカーによる買呼値や売呼値の安定的、連続的な提示が不可能または困難となることがあり、その結果、想定する価格で取引ができないなど、お客様にとって不測の損失が生じる可能性があります。また、一部の通貨において母国市場等の休業の場合には臨時に休場することがあります。更に、当該国の為替政策・規制による他通貨との交換停止や外国為替市場の閉鎖の措置がなされるなどの特殊な状況が生じた場合には、特定の通貨ペアの取引が不能となる可能性もあります。なお、平常時においても流動性の低い通貨の取引を行う場合には、希望する価格での取引ができないなどの不利益を被る可能性があります。

【コンバージョンリスク】

クロスカレンシー取引においては、決済が当該通貨ではなく円貨でなされることから、決済時に当該通貨の為替リスクの他に円との為替リスクがあります。

【ロスカットのリスク】

相場の変動により、有効比率が当社の定める基準以下となったことを当社が確認した場合、お客様の意思に関わらず、当社はおお客様の全ての未約定注文の取消及び全ての建玉の決済注文（ロスカット注文）の発注を行います。

ロスカットの場合でも、相場の急激な変動により損失の額が差し入れた証拠金の額を上回る可能性があります。

【情報リスク】

当社からご提供させていただく情報は、くりっく 365 の取引の参考としていただく資料です。その記載情報は、信頼性、正確性、完全性において保証されるものではありません。また、情報内容も予告なしに変更することもあります。

【その他】

取引所為替証拠金取引の売買は、クーリング・オフの対象とはなりません。取引所為替証拠金取引に関しましては、金融商品取引法第 37 条の 6 の規定の適用対象とはなりませんので、ご注意ください。

※くりっく 365 は、株式会社東京金融取引所の登録商標です。